

## 1 活動名

松本市立病院建設に係る「新しい地域医療構想」の方向性調査

## 2 調査の目的

### (1) 本市における課題

松本市立病院建設実施設計が進んでいる中、建設費の高騰に伴う経営改革への影響が考えられている。経営改革と共に行うことになっている病院建設は、これからの地域医療に果たす病院であることが必要となる。実施設計の完了前に国が進める地域医療の考え方との整合性を図る必要がある。

### (2) 調査の必要性

病院局を通しての情報収集でなく、国の考えている地域医療の在り方を直接調査すること、市議会として病院建設に向き合う知識を得る必要がある。

### (3) 調査項目

2040年に向けた地域医療の在り方を、都道府県が主体となって定める「新しい地域医療構想」の方向性

## 3 調査地選定理由

- (1) 地域医療構想の策定主体は都道府県であるが、都道府県の方針に加え策定のマニュアルを司る厚生労働省に出向き直接説明を受け、意見交換をすることが知見を深めるために必要。

## 4 調査結果

- (1) 実施日 2025年8月18日(月)

- (2) 出席者 神津ゆかり 横内裕治 上條一正 花村恵子

### (3) 調査内容

ア 新しい地域医療構想 厚生労働省 阪田地域医療対策室長補佐 他1名

#### ① 長野県の病院の現状

- ・ 松本市立病院を含む県内病院の病床稼働率を含む現状資料提供
- ・ 日本の2040年における人口動態と医療状況予測から導き出される病院の役割

#### ② 新しい地域医療構想

- ・ 現在の地域医療構想は病院ごとの病床数とそれぞれの機能を明確にすることにあるが、医療需要が激変する2040に向けては、圏域ごと病院の役割りを機能別に明確にすることが必要である。
- ・ 松本市が位置する中心圏域においては、市立病院の機能は基幹病院でなく機能を特化した地域に根差す機能に転換する必要がある。

### (4) 成果・所感等

- ・ 新しい地域医療構想に即するためには、現在進めている実施設計の下になる建設基本計画を見直す必要がある。
- ・ 市立病院で起きた分娩医療事故との関係を含め、病院局側に対応を資する必要がある。

## 5 政務活動費

- (1) 使途項目 調査旅費

- (2) 支出額 64,960 円(日当 3,000 円、交通費 13,240 円)×4人